

洪水から身を守るために

中小河川洪水ハザードマップを作成

近年、局地的な大雨やたび重なる台風の上陸などにより、全国各地で洪水が発生しています。

特に中小河川は、局地的な大雨の影響を受けやすく、数時間の大雨で急激に水位が上昇し、洪水が発生する可能性があります。

市は、いざという時に、多くの皆さんが安全に避難できるよう、この「中小河川」を対象とした、中小河川洪水ハザードマップを作成しました。



洪水ハザードマップとは

河川がはん濫した場合、または、はん濫する恐れがある場合に、地域住民の方々が、すばやく安全に避難するために、被害の想定される範囲や被害の程度、さらには避難所などの情報を地図上に示したものです。

また、災害防止のために知っておいてほしい情報も掲載しています。

対象の河川は

今回作成した中小河川洪水ハザードマップで、対象となっている河川は、次の9つです。

- 利根別川
- 東利根別川
- ダルミ川
- 清真布川
- 最上川
- 南利根別川
- ポントネ川
- 旧美唄川
- 加茂川

なお、浸水の想定には、排水溝などからのはん濫は考慮しておらず、また、状況によっては、浸水想定区域以外で浸水したり、浸水の深さが実際と異なったりすることがありますので、雨の降り方や周辺の状況には十分にご注意ください。

◇ ◇
ハザードマップを見た人と見えない人とは、避難行動に差が出ると言われていきます。

このハザードマップを活用し、水害が発生した、または発生する恐れがあるとき、「どう行動すべきか」を今一度確認するとともに、早めの避難を心がけ、どこに避難すれば良いかを日頃から考えておくことが大切です。

なお、中小河川洪水ハザードマップは、3月下旬から配布しています。4月中旬までに届かない方は、お問い合わせください。

もしものとき
あなたの命を救うのは
あなたの判断です

大河川と 中小河川の違い



大きな河川では…
流域が大きく、局所的な大雨等の影響を受けにくい

⚠ 中小河川は、雨の降り始めから数時間ではん濫することがあります。日頃から、浸水区域や避難所等の避難情報をハザードマップで確認し、いざという時に備えてください。

問合せ先 市防災対策室

大河川の洪水ハザードマップは、平成26年度中に更新予定です。詳しくは、お問い合わせください。